



THE ROTARY CLUB OF NAGANO WEST 長野西ロータリークラブ



例会 毎週金曜日 12:30～13:30 ホテル国際 21
事務局 〒380-0838 長野市県町 576 ホテル国際 21 内
☎026(235)2800 FAX026(235)0016
e-mail:nwrc1987y@sweet.ocn.ne.jp

会長／布施慶典 幹事／村田秀雄 クラブ会報委員長／藤澤克彦
SAA／野村泰久 副SAA／西沢 徹

第1508回例会 2019年（平成31年）3月1日（金）

インスピレーションになろう BE THE INSPIRATION

会長挨拶

布施慶典会長

3月の声を聞きますと、何となく心がウキウキします。信州では、まだまだ寒い日もありますが、日増しに日差しが暖くなり、春らしくなってきます。北国では春が一番待ち遠しく楽しみな季節だと思えます。私の故郷は、偕楽園の梅林も、ニュースに取り上げられ、花と香りに包まれているだろうと思出す時期です。

さて、今日は、俳優・小説家・元ニュースキャスター・元参議院議員等の経歴の中村敦夫さんの活動についてお話したいと思います（テレビの木枯らし紋次郎で主演）

時代への警鐘として、朗読劇「線量計が鳴る」を三年かけて自ら製作し、ひとり朗読劇として上演を続けています。内容は元福島原発の元技術者の体験や経験を基に、これからの日本および日本人への警鐘です。2016年11月福島から披露はじめて、全国で30回以上の上演をし今年の4月までは予定が詰まっているそうです。近隣地域での上演がなく観劇できないので、本を買って読みました。中村敦夫さんは、現在78歳で「このままでは駄目だ。原発問題の根本を伝えたい。もう時間がない」と上演を続けているそうです。最後は『右向けといわれれば右向き、左といわれれば左。死ねといわれれば死ぬ。俺は、もうそういう日本人にはなりたくねえんだ』という台詞だそうです。戦前・戦後・そして平成と精一杯生き抜いている大先輩の、国を想うこのような人生観に感激し、私もポット生きていては申し訳ないと思い、心新たにしました。

3月のお祝い

おめでとうございます



<結婚記念会員>

林 智成さん 井上明彦さん 川橋昭義さん
小山亮一さん 太田裕志さん 坂本千尋さん

<夫人誕生記念>

青木容子さん 伊東けさみさん 小山京子さん
大谷由美さん

<会員誕生記念>

青木 宏さん 飯田弘己さん

幹事報告

村田秀雄幹事

- ・ 3月13日に長野市内6RC幹事会と合わせて6RC合同親睦ゴルフコンペの打合せ会開催。
幹事・宮原会員家族委員長 出席
- ・ 3月16～17日会長エレクト研修セミナー開催。
村田弘志会長エレクト 竹内喜宜次期G補出席
- ・ 地区青少年交換委員会よりの要請を受けて、交換留学生受入（ホストクラブ）についてですが、2月27日に会長・会長エレクトとで若林地区青少年交換委員長の所へ行き覚書を交わし受入るといふことで決定しましたので報告します。受入期間は2020年5月1日から約4ヶ月といふことでよろしくお願い致します。

出席・ニコBOX報告 中島 勉例会運営委員長

3/1 (会員48名) 出席25名前々回修正出席率80.43%

- ・布施慶典さん☆まだ寒いですが、春になりました。コートを脱いで頑張りましょう。
- ・若麻績信昭さん☆①先日の新春親睦ゴルフコンペ楽しませて頂きました。②本日卓話です。ごゆっくりお休み下さい。
- ・村田秀雄さん☆春の親睦ゴルフにて優勝できました。ちなみにグロス89でした。
- ・大橋東二郎さん☆親睦ゴルフ楽しかったです。なんとか100をきれました。
- ・松本克幸さん☆熊本城マラソン4時間44分で、完走できました。
- ・南 信行さん☆東口病院で、リフレッシュして来ました。大橋先生ありがとう。スッキリしました。

・合計 18,500円 ・スヌーピー 5,686円

・累計 535,862円

観桜会ご案内

日時：4月12日(金) 18:30～

場所：幸先

会費：2,000円



3月29日(金)までに事務局宛ご連絡ください。

例会案内

- 3月15日 会員卓話 藤澤克彦さん
- 3月22日 休会
- 3月29日 ゲスト卓話 大島千恵子さん
(株) 収納企画トトノエ堂
「オフィスが片付く
仕組みづくりのポイント」
- 4月5日 ゲスト卓話 別所秀一郎さん

会員卓話 若麻績信昭さん

「お彼岸」



今月18日から21日(年によっては20日に変わることもあります)の春分の日を挟んで23日までが春のお彼岸。また9月20日から23日の秋分の日を挟んで26日までが、秋のお彼岸です。

お彼岸とは現在私達が住んでいる娑婆(しゃば)世界に対して「三途の川」の向こう岸に有る極楽世界の事です。昔から太陽の沈む西に極楽の世界いわゆる西方極楽浄土の世界が有ると言われ、特に春分の日と秋分の日には昼の時間と夜の時間が同じなので、太陽が真東から昇り、真西に沈むので、日没の太陽に合掌する。という習わしも有ったそうです。

またお彼岸中は布施(ふせ・恵みを施す)・持戒(じかい・戒めを守る)・忍辱(にんにく・耐え忍ぶ)・精進(しょうじん・務め励む)・禅定(ぜんじょう・鎮め、保つ)・般若(はんにゃ・智恵、悟り目覚める)という六波羅蜜(ろくはらみつ・ろっぱらみつ)の行を修め、日常の生活を反省し、仏道と信仰の実践週間として意味づけられています。

また国民の祝日に関する法律では、春分の日は「自然を讃え、生物を慈しむ日」また秋分の日「祖先を敬い、亡くなった人々を偲ぶ日」と定められています。世界中で、日本だけが、春分の日と秋分の日が、太陽が真西に沈む国なので、お彼岸は、日本独自の文化です。



3/8 本日のプログラム

会員卓話 坂本千尋さん

「趣味の話」